

第2次能代市バスケの街づくり推進計画

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度



能 代 市

第2次能代市バスケットの街づくり推進計画 目次

第1章 計画策定にあたって

1	計画策定の経緯と趣旨	1
2	前計画の検証	1
3	策定にあたっての視点	2
4	計画の期間	3
5	計画の構成	3

第2章 基本計画

1	街づくりのビジョン	4
2	街づくりの目標	5
3	街づくりの取組	8
4	各主体の役割	13

第3章 街づくりの推進

1	街づくりの推進体制	15
2	バスケットの街づくりに関わる数値項目と目標値	15

資料編

1	計画策定の経過	1
2	バスケットの街づくり推進委員会 分科会の検討結果	2
3	バスケットの街づくりに関する指標の推移について	3
4	バスケットの街づくり推進委員会名簿	6

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の経緯と趣旨

能代市では、平成元年度からバスケットボールの街づくり事業に取り組んでおります。

また、平成15年度から「新バスケットボールの街のしろ推進計画」をスタート、平成24年度からは「能代市バスケットボールの街づくり推進計画」を策定しており、バスケットボールを核に地域振興を図るため、各種取組を進めてきました。

平成24年度にはバスケットボールに特化した資料館「能代バスケットミュージアム」を開設、また、令和2年度に能代工業高校と能代西高校の統合により、能代科学技術高校が新たに開校するなど、本市においても年々、バスケットボールを取り巻く状況は変化してきました。

これまで10年間取り組んできた「能代市バスケットボールの街づくり推進計画」の計画期間を終えることを機に、計画で進めてきた取組を検証・整理するとともに新たな視点を加え、バスケットボールを核にした地域振興を図るバスケットボールの街づくり計画を策定するものです。

2 前計画の検証

本市は、能代工業高校が全国優勝30回（平成元年当時）を超えたことを契機に、幅広い市民参画によりバスケットボールの街づくり事業に取り組んできました。バスケットボールの街づくりの総合指標として、「バスケットボールを楽しめる環境」、「バスケットボールの街を他に誇れると思う」、「バスケットボールの街づくりに関わりたい」の3項目を設定しましたが、バスケットボールを取り巻く状況の変化や時間の経過に伴い、令和3年度ではいずれの項目も基準値を下回る結果となり、バスケットボールの街づくりの担い手は減少傾向にあります。

こうしたことから、今一度、市民にバスケの街を知ってもらい、理解を深めてもらう取組が必要であり、市外へ向けた効果的な情報発信も不可欠と考えられます。

また、前計画は10年間の長期計画のため、様々な状況の変化に対応することができず、一部、形骸化した取組や継続できなかった取組がありました。今後は他分野との関わりを持ち、多面的な取組を展開していくことが重要になります。

3 策定にあたっての視点

計画の策定にあたっては、次の3つの視点で検討を進めました。

(1) 地域の内側に向けた視点

- バスケの街づくりへの関わり方の工夫
- 地域内への波及効果

(2) 地域の外側に向けた視点

- バスケの街づくりの魅力発信やシティプロモーション
- バスケに関する取組を通じた交流・関係人口の可能性

(3) スポーツ・競技の視点

- 地元チームの応援・支援のあり方
- バスケ関係施設等

4 計画の期間

計画の期間は令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間とします。

5 計画の構成

バスケの街づくりに関する計画として、次の3つの層で構成します。

(1) 街づくりのビジョン

○街づくりの将来像を示します。

(2) 街づくりの目標

○街づくりには様々な分野・領域が関係し、多面性があります。

○街づくりのビジョンに向かって歩むための目標を示します。

(3) 街づくりの取組

○街づくりを進めるための方向性を示します。

第2章 基本計画

1 街づくりのビジョン

市民、来訪者、関係者等、バスケを通じて関わる人が、「楽しむ」、「興味・愛着を持つ」、「集う」、そのような街づくりを目指し、「バスケでみんなが元気になれる街」をビジョンとします。

このビジョンは前計画から引き継ぎながらも、「能代らしさ」を追い求め、バスケの街能代のさらなるステップアップを目指します。

街づくりのビジョン バスケでみんなが元気になれる街

2 街づくりの目標

街づくりのビジョンを目指すため、次の3つの目標を設定します。

街づくりの目標 (1) バスケットの街で多様な関わりが生まれること

バスケットボールには選手がプレイするだけでなく、支える、見る、応援する、調べるなど多様な関わり方や楽しみ方があります。

これらの多様な関わり方を持つ多くの市民や来訪者など、誰もが参加できる幅広い取組や、バスケットを通じてより多くの方の関わりを増やし、担い手も確保していくことが望まれます。

また、競技としてのバスケットボールだけでなく、「バスケットの街」ならではの様々な角度からの取組に幅広い参画を通じて、「バスケットの街」を磨き上げ、魅力を高めることが望まれます。

これらを踏まえて、街づくりの目標の1つ目を『バスケットの街で多様な関わりが生まれること』とします。

街づくりの目標 (2)バスケの街の魅力に触れられること

本市においては、平成24年にバスケットボールに特化した全国でも珍しい「バスケミュージアム」を開設し、様々な資料を展示するなどバスケの街としての取組を進めています。

これまでバスケミュージアムや地域おこし協力隊員を中心にした情報発信が続けているものの、バスケの街としてのステップアップを図るためには、さらなる情報発信が望まれます。

「バスケの街」の魅力を有効に活用し、知名度やイメージ向上につなげるため、地域内外のニーズに応じた情報を効果的に発信していくことが必要です。

また、バスケの街の魅力を発信することで、地域と多様にかつ継続的に関わる「関係人口」の創出を目指していくことが望まれます。

これらを踏まえて、街づくりの目標の2つ目を『バスケの街の魅力に触れられること』とします。

街づくりの目標 (3)バスケの街を未来につなげること

本市がバスケの街づくりの取組を始めたのは、全国優勝５８回の偉業を誇る能代工業高校バスケットボール部の輝かしい栄光があったことです。統合により校名は変わりましたが、同校の偉業や栄光の軌跡は後世に語り継いでいくべきものです。

また、毎年ゴールデンウィークに開催される「能代カップ」や、これまで３０年に渡り様々なバスケの街づくりに取り組んできた足跡は、これからも未来に向けてつなげていくことが望まれます。

これらを踏まえて、街づくりの目標の３つ目を『バスケの街を未来につなげること』とします。

3 街づくりの取組

街づくりの目標ごとの取組を次の構成により表します。

○取組の方向

目標ごとの取組について、それぞれの方向性を掲載します。

○取組の概要

取組の具体的な内容について、継続する取組、新たな取組に分けて掲載します。

目標（１）	<u>バスケの街で多様な関わりが生まれること</u>
-------	----------------------------

取組の方向	①バスケを組み入れたイベントを開催する
取組の概要	<継続する取組>
	・幅広い年代やバスケ未経験者も参加する健康フリースロー大会の開催
	・地域おこし協力隊による商店街と連携した3×3大会の開催
	<新たな取組>
	・市の特色である宇宙や木都などといった多様なテーマをバスケとコラボした企画を開催し、市内外からも参加可能な取組みを行う
	・市内商店街や大型ショッピングモールと連携したバスケットイベントを開催し、市内を周遊する企画を行う

取組の方向	②幅広い市民の参画を図る
取組の概要	<継続する取組>
	・バスケの街づくり市民チャレンジ事業の実施 ・バスケの街づくり推進委員会の設置
	<新たな取組>
	・高校生などの若い世代や意欲ある方からアイデアを募り実行する仕組みを構築する ・小中高校の校外学習等で「バスケの街」を対象にした授業を促す ・各種イベント等をとおして、担い手の確保に努める

取組の方向	③大会や合宿誘致による地域との交流を図る
取組の概要	<継続する取組>
	・大学生等が参加するサマーリーグの開催
	<新たな取組>
	・大会や合宿で訪れた際に市内の地域資源（ネギ収穫、木工体験、旧金勇見学等）に触れる機会を設ける ・試合や大会開催を通じて市内への滞在時間の増加を図る取組を検討する

目標（２）	<u>バスケの街の魅力に触れられること</u>
-------	-------------------------

取組の方向	①バスケミュージアムの積極的な展開を図る
取組の概要	<継続する取組>
	・能代市役所旧議事堂や道の駅ふたつへの所蔵品の出張展示
	<新たな取組>
	・市内の集客施設でバスケミュージアムの出張展示を行う ・能代のバスケの歴史を語り継ぐことができる体制づくりを推進する ・バスケミュージアムが保有する各種映像・所蔵品のデジタルアーカイブ化を進め、展示の充実を図る

取組の方向	②発信力を強化し、バスケの魅力をＰＲする
取組の概要	<継続する取組>
	・バスケの街能代の共通ロゴマークのＰＲ ・バスケをテーマにしたシャッターアート等 ・バスケをデザインした街灯やマンホールの設置
	<新たな取組>
	・バスケミュージアムの展示物等の魅せ方や価値の届け方を工夫し、情報発信を行う ・バスケおもしろ動画、チャレンジ動画等のみんなが楽しめる要素を持ったバスケ動画を集約し、企画展や動画配信を行う

取組の方向	③バスケ環境の充実を図る
取組の概要	<継続する取組>
	・市内の公園へのバスケットリングの設置・維持・更新 ・可搬式３×３コートの導入
	<新たな取組>
	・街なかでバスケができる環境や記念撮影ができるスポットの整備を検討する

目標（３）	<u>バスケの街を未来につなげること</u>
-------	------------------------

取組の方向	①能代カップの継続を図る
取組の概要	<継続する取組>
	・能代カップ開催補助金 ・大会運営に関わるボランティアの確保
	<新たな取組>
	・能代カップへの支援を継続するため（バスケの街づくりに対する）、ふるさと納税へのPR強化を図る ・能代カップの観戦者をバスケミュージアムへ誘導、中心市街地を回遊する取組を図る

取組の方向	②地元チーム等へ支援する
取組の概要	<継続する取組>
	・市とＪＡが協力し下宿生などに玄米を支援 ・能代科学技術高校バスケットボール部後援会を通じ、ふるさと納税を活用した寄附 ・全国大会等の出場時にパブリックビューイングを開催し応援する
	<新たな取組>
	・能代市内のバスケットチームを支援するため、応援自動販売機を設置する ・能代科学技術高校バスケットボール部へ地域の特産品を含めた支援を行う

取組の方向	③プロバスケットチーム等と連携する
取組の概要	<継続する取組>
	・秋田ノーザンハピネッツとの連携・協力に関する協定の締結 ・秋田ノーザンハピネッツの選手による小中学生を対象にしたクリニックや市内の祭り等イベントへの参加協力 ・県内3×3チームへの市内選手のコーディネート
	<新たな取組>
	・秋田ノーザンハピネッツと連携し、シニア向け運動講習会やチアリーディング講習会等を行う ・アランマーレ秋田との連携を図る ・秋田スティーラーズと連携し3×3競技の普及を図る

4 各主体の役割

本計画の推進にあたっては、行政だけでなく、市民や様々な関係機関等が、主体的に担い手として取り組むことが重要です。そのため、以下のような役割とし、互いに連携しながら、効果的な計画の推進を図っていきます。

1 市民

バスケを通じて、バスケを楽しむとともに、バスケに対する興味や愛着を持ち続けられるよう、生涯にわたって活動していくことが期待されます。

また、市民だけではなく、来訪者や関係者が集い、バスケでみんなが元気になれる街を作っていくことが期待されます。

2 団体及び組織

① バスケの街づくり推進委員

計画の推進・点検を市と協働で行います。

計画の推進 … バスケの街づくり事業の実施に取り組むとともに、実施主体をサポートするなど、本計画の推進を図っていく役割を担います。

計画の点検 … 推進計画の進捗状況の点検を行い、現状と課題の把握に努めます。

② 商工・観光団体等

相互に連携して、バスケも含め、市内にある資源や特色を活かしたイベントを企画、運営することが期待されます。市内外からの来訪者を呼び込むことで経済効果が生まれ、地域が潤うことが期待されます。

③ 小中高校、学生等

校外学習やインターンシップ等でバスケの街づくりに関わることで、ふるさとへの愛着心の醸成が図られることが期待されます。

④ 競技団体等

各種大会やイベントの企画、運営を行い、バスケの発展と振興を図っていく役割を担うとともに、市内バスケチームへの支援活動を積極的に行い、競技力の強化や向上を目的した役割が期待されます。

3 市

計画の推進においては、市民活力推進課を中心に、街づくりやスポーツ振興の関係部局と密に連携し、バスケット環境の充実を図り、バスケットの魅力を発信していきます。

また、バスケットの街づくり推進委員や関係団体と連携し、市民が様々な形でバスケット活動に取り組みやすい環境づくりに努めます。

第3章 街づくりの推進

1 街づくりの推進体制

この計画は、バスケットの街づくり推進委員や関係機関、団体と連携を図りながら、取組を進めるとともに、以下のとおり目標値を定め、進行管理を行っていきます。

2 バスケットの街づくりに関わる数値項目と目標値

計画に掲載している取組に関連する数値項目は以下のとおりとします。

○増加を目指す項目

項 目	バスケットイベントの年間開催数 【現況値】－	目標値
		5回
関連する取組	(1) ①バスケットを組み入れたイベントを開催する	

項 目	学校の校外学習等でバスケットを内容に取り入れた学校数 【現況値】5校	目標値
		10校
関連する取組	(1) ②幅広い市民の参画を図る	

項 目	バスケットミュージアムSNSのフォロワー数 【現況値】4,480人	目標値
		10,000人
関連する取組	(2) ①バスケットミュージアムの積極的な展開を図る (2) ②発信力を強化し、バスケットの魅力をPRする	

○数値を把握していく項目

項 目	アリナスでバスケット合宿を行った団体数と参加人数（年間） 【現況値】 8団体 337人 ※令和元年	目標値
		10団体 500人
関連する取組	（１）③大会や合宿誘致による地域との交流を図る	

項 目	バスケットミュージアムの年間入館者数 【現況値】 4,057人	目標値
		6,000人
関連する取組	（２）①バスケットミュージアムの積極的な展開を図る （２）②発信力を強化し、バスケットの魅力をもPRする	

項 目	能代カップの観客数 【現況値】 6,286人 ※令和元年	目標値
		7,000人
関連する取組	（３）①能代カップの継続を図る	

資料編

1. 計画策定の経過

年 月 日	事 項
令和2. 9. 25	第3回バスケの街づくり推進委員会(計画の検証)
11. 30	第4回バスケの街づくり推進委員会(計画の検証・協議)
令和3. 2. 17	第5回バスケの街づくり推進委員会(計画の検証結果まとめ)
8. 2	第6回バスケの街づくり推進委員会 (新計画策定の手順、スケジュール確認)
10. 4	バスケの街づくり推進委員会 分科会(1回目)
10. 22	バスケの街づくり推進委員会 分科会(2回目)
10. 25	庁内検討会議
11. 10	バスケの街づくり推進委員会 分科会(3回目)
令和4. 3. 10	「第2次能代市バスケの街づくり推進計画」たたき台を委員へ確認
7. 29	現委員への委嘱状交付及び第1回バスケの街づくり推進委員会 (第2次能代市バスケの街づくり推進計画たたき台の確認)
8. 25	第2回バスケの街づくり推進委員会(委員からの意見聴取)
10. 13	第3回バスケの街づくり推進委員会(計画素案の確認)
11. 25	第4回バスケの街づくり推進委員会(計画素案の決定)
12. 8	市議会総務企画委員会へ計画素案を説明
令和5. 1. 4	計画素案のパブリックコメント
2. 24	第5回バスケの街づくり推進委員会(計画の決定)

2. バスケットの街づくり推進委員会 分科会の検討結果

分科会名	地域活力分科会	交流・関係人口分科会	スポーツ・競技分科会
目指す姿・目標	・市民参加のバスケットの街をつくる (市民とバスケットの関わりを熟成させる)	・バスケットで人が集められる ・バスケットの街の高付加価値化を図る	・地元チームの支援をする ・スポーツ＋イベント＝多くの市民が楽しむ

必須となる 取組	・市民の意見を集約して（アンケート）バスケットの街づくりに活かす ・双方向で企画イベントにバスケットを組み入れる ・バスケットミュージアムの充実 ・バスケット検定（有段者はバスケットミュージアムの解説員） ・出張展 ・バスケットの街づくり市民チャレンジ事業補助金 ・バスケットの街を発信	・コンサルやプロデューサー等専門知識を持つ人材の登用 ・バスケットの街づくりのための支援制度の柔軟化で活性化 ・バスケットの拠点として情報収集・発信力の強化 ・企画、イベントにバスケットが組み入れやすい工夫	・能代カップの運営 ・大会と合宿の維持（イベントの応援体制が必要） ・地元チームを支援する（コーディネーターが必要） ・屋外リングの整備（公園リングとの調整）
可能性のある 取組	・ストリートバスケットの環境整備を図る ・バスケット関連のグッズや食の能代名物としての定着を図る（調査する）	・低学年から一般まで幅広くイベントへ参加 ・バスケットミュージアムの民営化	・プロバスケット等のゲーム等を誘致・支援する ・バスケットクリニック・指導者の育成

3. バスケットの街づくりに関する指標の推移について

●街づくりの総合指標（市民意識調査）

問：バスケットを楽しめる環境があると思う市民の割合

「思う」「どちらかといえば思う」の割合

H24	R 1	R 2	R 3	R 3－H24
37.9%	30.1%	34.1%	32.3%	△5.6%

男女別の変化と比較

項目	H24	R 1	R 2	R 3	R 3－H24
男性	35.4%	26.9%	30.5%	31.1%	△4.3%
女性	39.3%	32.6%	37.1%	33.0%	△6.3%

年代別の変化と比較

項目	H24	R 1	R 2	R 3	R 3－H24
～20代	34.8%	30.5%	38.5%	36.6%	1.8%
30代	33.6%	22.5%	37.1%	29.6%	△4.0%
40代	36.4%	29.3%	26.1%	33.3%	△3.1%
50代	34.0%	23.8%	32.7%	28.6%	△5.4%
60代	42.1%	30.1%	34.4%	29.5%	△12.6%
70代～	46.8%	43.5%	33.5%	38.9%	△7.9%

男女別・年代別の変化と比較

	項目	H24	R 1	R 2	R 3	R 3－H24
男性	～20代	39.8%	35.2%	40.0%	40.0%	0.2%
	30代	31.9%	22.4%	39.0%	28.3%	△3.6%
	40代	30.5%	30.8%	20.2%	25.9%	△4.6%
	50代	28.9%	15.1%	30.3%	25.0%	△3.9%
	60代	36.9%	24.7%	32.0%	29.7%	△7.2%
	70代～	48.1%	36.5%	25.3%	41.8%	△6.3%
女性	～20代	39.0%	26.5%	37.3%	33.9%	△5.1%
	30代	31.9%	22.7%	36.5%	30.5%	△1.4%
	40代	40.4%	28.1%	38.1%	38.3%	△2.1%
	50代	37.6%	30.5%	33.7%	31.2%	△6.4%
	60代	46.8%	35.5%	37.0%	29.4%	△17.4%
	70代～	44.7%	48.6%	40.8%	35.7%	△9.0%

問：バスケットを他に誇れると思う

「思う」「どちらかといえば思う」の割合

H24	R1	R2	R3	R3－H24
42.4%	35.9%	41.2%	36.0%	△6.4%

男女別の変化と比較

項目	H24	R1	R2	R3	R3－H24
男性	42.4%	32.7%	39.0%	34.6%	△7.8%
女性	41.7%	38.7%	43.1%	37.1%	△4.6%

年代別の変化と比較

項目	H24	R1	R2	R3	R3－H24
～20代	37.7%	35.6%	42.7%	49.6%	11.9%
30代	38.1%	27.0%	44.8%	28.1%	△10.0%
40代	36.4%	30.0%	34.3%	34.0%	△2.4%
50代	43.2%	29.5%	37.8%	27.9%	△15.3%
60代	48.9%	39.8%	41.7%	34.3%	△14.6%
70代～	47.7%	50.7%	47.2%	46.0%	△1.7%

男女別・年代別の変化と比較

	項目	H24	R1	R2	R3	R3－H24
男性	～20代	37.3%	44.4%	46.6%	45.5%	8.2%
	30代	39.4%	20.7%	51.3%	28.3%	△11.1%
	40代	38.9%	32.7%	26.1%	32.3%	△6.6%
	50代	39.1%	22.8%	34.8%	28.9%	△10.2%
	60代	48.8%	35.7%	41.0%	29.7%	△19.1%
	70代～	50.0%	39.6%	28.8%	49.1%	△0.9%
女性	～20代	38.0%	28.1%	39.7%	53.0%	15.0%
	30代	36.9%	32.0%	41.9%	28.1%	△8.8%
	40代	34.5%	28.3%	42.1%	35.1%	0.6%
	50代	46.2%	34.7%	39.3%	27.3%	△18.9%
	60代	48.9%	44.1%	43.1%	37.9%	△11.0%
	70代～	44.6%	60.5%	53.9%	44.3%	△0.3%

問：バスケの街づくりに関わりたいと思う

「思う」「どちらかといえば思う」の割合

H24	R1	R2	R3	R3－H24
20.5%	13.7%	14.7%	12.8%	△7.7%

男女別の変化と比較

項目	H24	R1	R2	R3	R3－H24
男性	19.2%	13.2%	17.6%	14.3%	△4.9%
女性	21.1%	14.2%	12.4%	11.8%	△9.3%

年代別の変化と比較

項目	H24	R1	R2	R3	R3－H24
～20代	29.7%	17.8%	18.9%	21.2%	△8.5%
30代	26.0%	13.5%	21.6%	14.0%	△12.0%
40代	15.4%	9.7%	11.0%	14.1%	△1.3%
50代	16.0%	12.3%	16.0%	13.6%	△2.4%
60代	17.6%	11.8%	15.1%	9.7%	△7.9%
70代～	18.3%	18.6%	6.9%	6.4%	△11.9%

男女別・年代別の変化と比較

	項目	H24	R1	R2	R3	R3－H24
男性	～20代	22.1%	20.4%	25.0%	23.6%	1.5%
	30代	27.3%	17.2%	29.3%	22.6%	△4.7%
	40代	15.3%	13.4%	10.5%	14.5%	△0.8%
	50代	13.0%	9.1%	13.6%	14.5%	1.5%
	60代	20.3%	9.9%	21.0%	9.9%	△10.4%
	70代～	17.3%	12.7%	9.0%	3.6%	△13.7%
女性	～20代	35.5%	15.6%	14.4%	19.2%	△16.3%
	30代	24.7%	10.7%	17.3%	8.6%	△16.1%
	40代	15.5%	7.0%	10.5%	13.8%	△1.7%
	50代	18.3%	13.9%	16.9%	13.0%	△5.3%
	60代	15.2%	14.0%	10.3%	9.4%	△5.8%
	70代～	19.6%	23.7%	5.3%	8.5%	△11.1%

4. 能代市バスケの街づくり推進委員会名簿（令和4年7月～）

	氏 名	主な所属団体等	備 考
1	湊 哲 一	合同会社 のしろ家守舎	委員長
2	佐々木 亜希子	NPO法人 ミライ 10	
3	山 田 雄 子	特定非営利活動法人 能代観光協会	
4	中 山 悟	能代金融懇談会（秋田銀行能代支店支店長）	
5	上 村 聖 子	N style	
6	鈴 木 了	cochi デザイン二級建築事務所	副委員長
7	山 内 健 斗	能代商工会議所	
8	佐 藤 潤 也	能代科学技術高等学校（教諭）	
9	石 井 貴 子	能代高等学校（探究活動）	
10	田 村 心 胡	能代高等学校（探究活動）	
11	田 中 優 花	能代市地域おこし協力隊（中心市街地活性化担当）	
12	野 本 志津也	イオンタウン株式会社（イオンタウン能代）	
13	千 勝 数 馬	一般社団法人 KIMNITY（元能代市地域おこし協力隊）	
14	新 田 聡	能代市地域おこし協力隊（バスケの街づくり担当）	



第2次能代市バスケの街づくり推進計画

発 行 能代市

令和5年4月

編 集 能代市企画部市民活力推進課

〒016-8501 秋田県能代市上町1番3号

TEL (0185) 88-8876

FAX (0185) 88-8875

E-mail katsuryoku@city.noshiro.lg.jp

